

企業情報

有限会社生必クリーナー
業種：生活関連サービス業
従業員規模：11～50人

課題分類

業務プロセスの効率化
社内の働き方改革

DX実践の目的

バックオフィス

車両の走行履歴や走行データの活用による走行距離削減、業務の効率化

課題内容

- 廃棄物の収集や処分を行っているが、車両の走行ルートをドライバーの判断に任せていたため、マネジメント側は走行ルートや所要時間を正確に把握できず、効率化に向けた指示出しができていなかった。
- 法律で定められた運転日報を書くために、ドライバーが手書きで作成し、事務員がシステムに入力していたため、時間外労働の一因になっていた。

実施概要

- クラウド上で車両情報を一括管理するシステムを導入し、走行履歴、現在地などを確認できるようにした。
- 運転日報は、車のメーターから走行距離を確認して記入していたが、ドライバーの走行データを自動集計するようし、運転日報の記入作業を無くした。
- GPSデータを元に、ルート・距離・時間を正確に蓄積。非効率な移動がないかを走行履歴データから分析した。

効果

- GPS履歴を活用して、無駄な走行を削減し、最適なドライビング経路を設定。ドライバーへの明確な指示で、走行距離を1割削減し、走行時間と燃料代の削減につながった。
- 自動化によって正確な情報を残すことができるようになり、運転日報の抜け漏れもなくなるとともに、残業も解消した。



Point

・GPS履歴の分析により、最適な経路を設定することで、走行距離を1割削減。業務時間や燃料コストも削減

【導入前】廃棄物収集の走行ルートを把握できず適切な管理ができていなかった

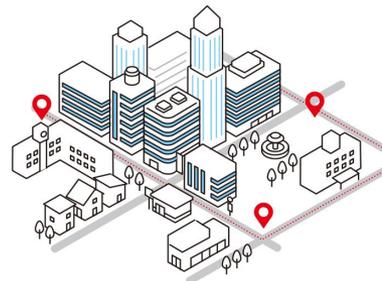
ドライバーの走行ルートを把握できていない…



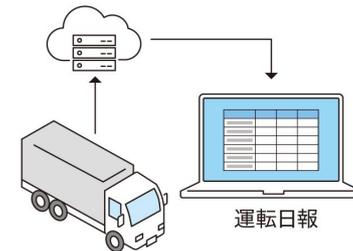
運転日報が手書きで、記入・運用が大変



【導入後】走行データを一括管理するシステムを導入蓄積データを活用しルートをもっと最適化、業務の自動化



走行履歴を活用し、最適なルートを設定



ドライバーの走行データを元に自動集計し、運転日報を作成

走行時間と燃料代の削減

業務の効率化

補助金活用

—

ITツール

【使用ツール】スマートドライブ
【取り扱い企業】株式会社スマートドライブ <https://smartdrive.co.jp/>
【ツール概要】クラウド型車両管理システム